

強靱の方向性 最適で災害に強い水道システムの構築

● 柱2.1 水需要を踏まえた施設再編による水道システムの最適化、安定化 125.62億円

施策9) 水道施設再構築構想の推進 337,500千円

No.13 水道施設再構築構想の推進

No.14 浄水場再整備事業 **主要事業**

・長期的な水需要の見通しや配水運用を踏まえ、水道施設を再編し水道システム全体の最適化、安定化を実現するため策定した「水道施設総合整備計画（水道施設再構築構想）」の進捗管理と検証を行い、目指すべき将来像を実現することで健全な水道システムを将来世代へ引き継いでいきます。

また、浄水場の再整備は、長期にわたるため、対象となる浄水場だけでなく、取水から配水の水道システム全体の運用やさまざまなリスクへの対応についても考慮する必要があります。そのため、再整備期間中においては、通常時はもとより、災害発生時にも安定した給水が確保できるよう、導水管や送水管、水系幹線の更新などの関連する事業についても着実に実施していきます。

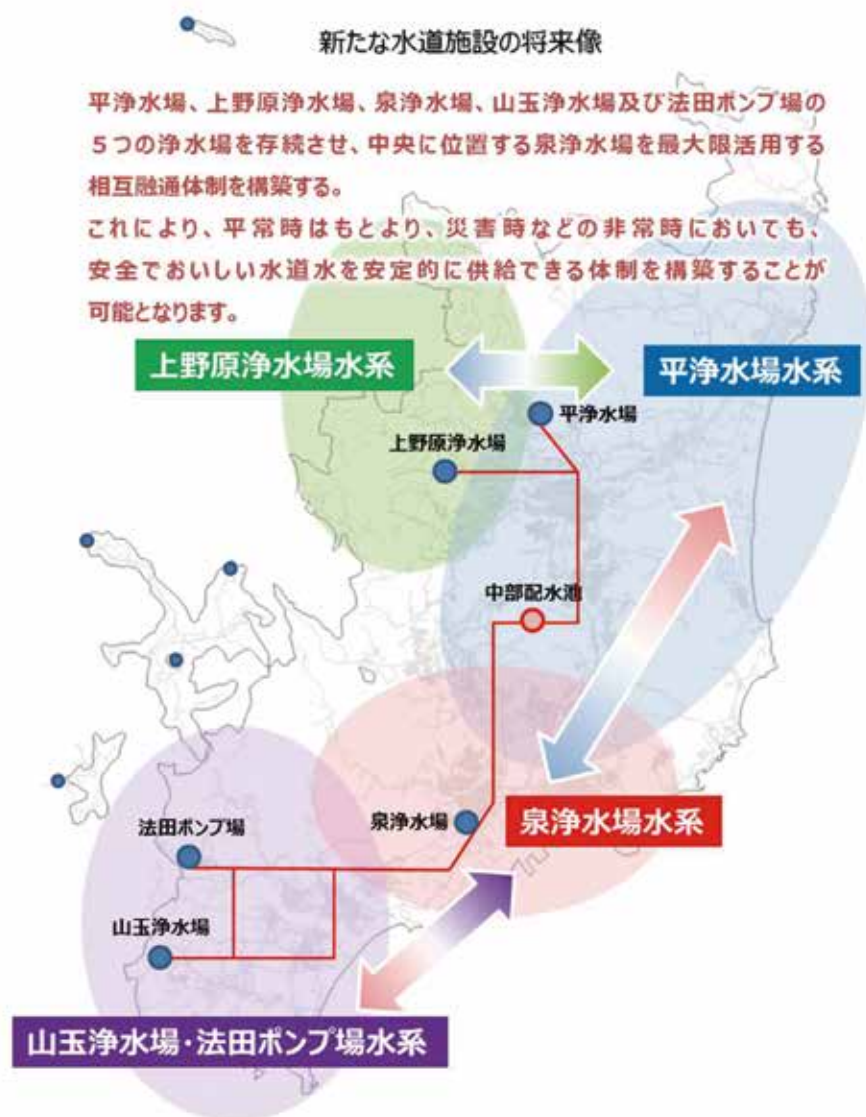
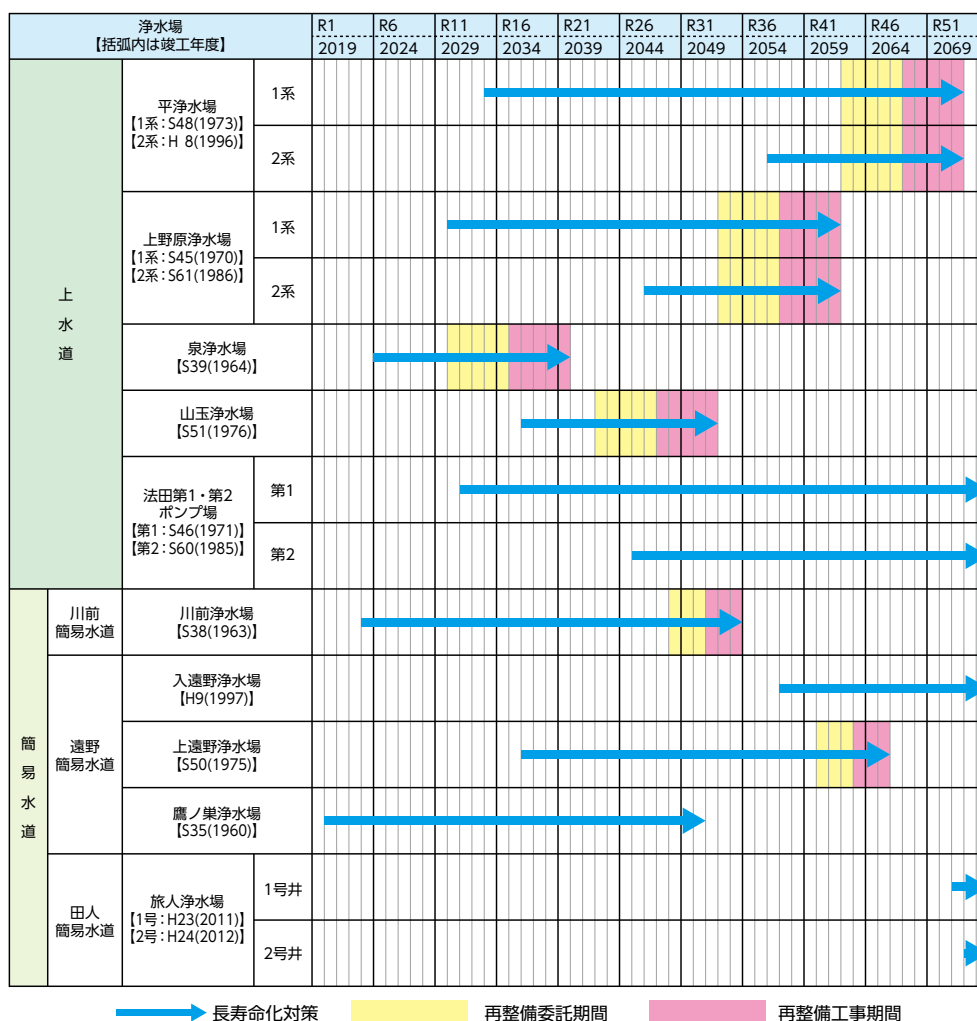


図69 最適な水道施設の将来像

・令和12(2030)年度からは泉浄水場の再整備期間となることから、泉浄水場の再整備に不可欠な鹿島・常磐水系幹線や中部配水池の新設などの基幹浄水場連絡管整備事業を着実に実施するとともに、導、送水管の新設・更新など関連する事業の計画的な実施に努めます。



(再掲) 図37 浄水場再整備スケジュール

事業No.	事業名	事業費
No.13	水道施設再構築構想の推進	0千円
No.14	浄水場再整備事業	337,500千円